

浦島 文男〔代表〕

## 『千年の森づくりグループ』



わたくしは、2001年頃から豊島、小豆島の皆様に学び、学習し、島での広葉樹の苗木育成を島の皆様としてきました。

その後、2003年、直島町への旅行で、民宿おかださんに泊まり、主人の苗木育成に感銘し、広葉樹の苗木を育成し、荒廃した山野のみどり再生で共感し、わたくしは、広葉樹のタネの採取、苗木の育成を取り組みました。



2004年1月、直島町の山林火災がおき、島の北半分が消失しました。その年、台風が中国・四国に上陸。海面の上昇で、発芽した苗木は海水をかぶり全滅しました。10月から12月に

浦島 文男 氏

『千年の森づくりグループ』代表。

岡山県地球温暖化防止活動推進員・美作地区協議会会長。

(財)おかやま環境ネットワーク自然環境部会員。

タネの採取を緊急に行い、育成に入りました。その後、毎年20,000粒以上育成しました。

### 『台風23号(2004年10月)岡山県急襲、県森林被害65億円』

県北の森林は5,400ヘクタールが倒木被害にあいました。岡山県美咲町で育成してきた広葉樹の苗木は、大きな役割をはたす時がきました。岡山県地球温暖化防止活動推進員の北の仲間が『美作地区協議会』を立ち上げました。この年、県民局が誕生しました。美作県民局が募集した『協働事業の提案』に、千年の森づくりグループが応募。最優秀で合格しましたが、実現までは2年もの真剣な議論を協働推進室・森林課と行ないました。

この間、美咲町美咲中央小学校の『総合学習』を、エコネット美咲の玉木正夫・浦島文男が行いました。地球温暖化、千年の森づくりで、4・5・6年生に行いました。2007年11月



25日、2008年11月25日の2年間「総合学習」で植樹を開催しました。



2009年11月22日美咲町境地区の耕作放棄地区の棚田の再生をめざして、植樹の行事を開催しました。岡山環境カウンセラー協会の主催、苗木は、千年の森づくりグループの直島・美咲町の広葉樹の苗木を5,000ポット運搬し、無事に植樹ができました。

現在は、植樹を地、やすらぎの森、境の棚田・植樹地の保育、下草刈りを継続しています。暴走竹数万の刈りきりもしていません。CO2吸収の千年の森は、将来は『黄金の森の誕生』を迎えます。食料、木材、エネルギーになるようにまだまだがんばります。

2010年6月26日には美咲町境地区の棚田において、『保育のつどい(下刈り・間伐・枝打ち)』を開催し、竹の粉碎機も登場しました。

皆様、是非ご参加ください。